

# 東北地方 1か月予報

(2月23日から3月22日までの天候見通し)

平成20年2月22日  
仙台管区気象台発表

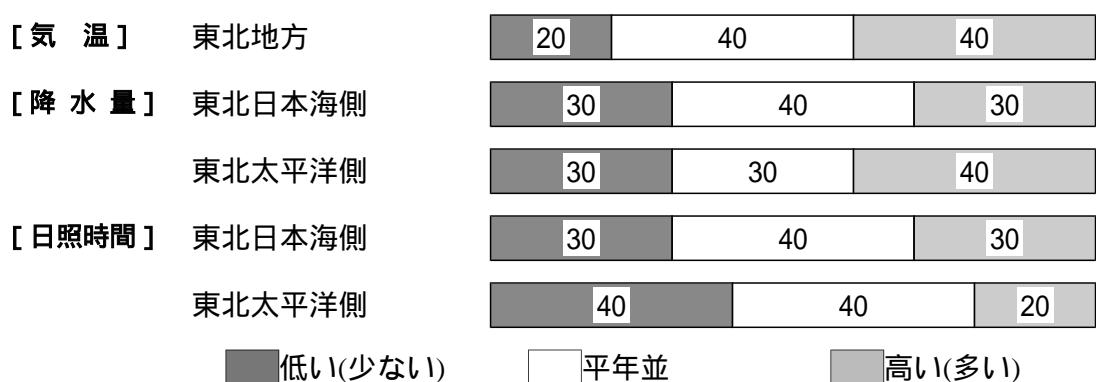
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

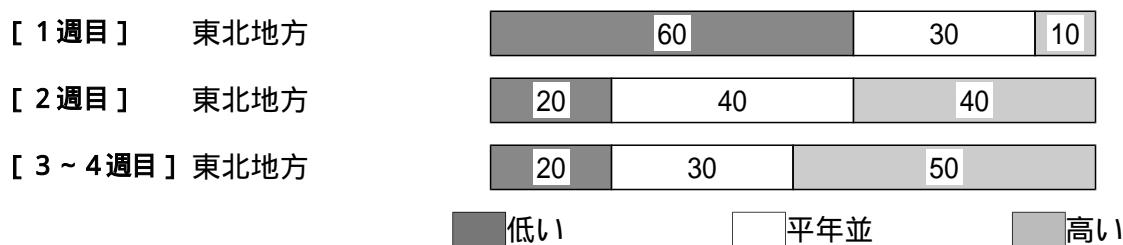
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。東北太平洋側の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は低い確率が60%、2週目は平年並または高い確率がともに40%、3~4週目は高い確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 2月23日(土) ~ 3月22日(土)  
1週目 : 2月23日(土) ~ 2月29日(金)  
2週目 : 3月 1日(土) ~ 3月 7日(金)  
3~4週目 : 3月 8日(土) ~ 3月21日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月29日  
3か月予報: 2月25日(月) 14時  
暖候期予報: 2月25日(月) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3～4週目
青森	0.9	74.4	116.7	-0.2	0.4	1.7
深浦	1.6	73.3	91.9	0.6	1.1	2.3
むつ	0.4	74.8	130.8	-0.6	-0.1	1.1
八戸	1.2	47.4	155.3	0.1	0.7	1.9
秋田	2.2	88.4	110.0	1.1	1.6	2.9
盛岡	0.7	67.9	151.3	-0.6	0.1	1.5
大船渡	2.6	72.7	155.7	1.6	2.1	3.2
宮古	2.0	78.6	166.9	1.0	1.5	2.7
仙台	3.6	60.6	167.2	2.5	3.1	4.2
石巻	2.8	57.1	174.3	1.7	2.3	3.4
山形	1.9	63.6	130.4	0.6	1.4	2.7
新庄	1.0	110.7	96.0	-0.1	0.5	1.7
酒田	3.3	97.3	102.3	2.2	2.8	3.9
福島	3.8	63.8	163.7	2.6	3.3	4.6
若松	1.8	61.3	124.0	0.5	1.2	2.6
白河	2.5	57.9	168.9	1.2	2.0	3.3
小名浜	5.4	83.8	177.7	4.4	4.9	6.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.6	83～111	94～107
東北日本海側	-0.5～+0.6	89～107	93～108
東北太平洋側	-0.5～+0.6	79～115	96～105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.8～+0.8	-0.7～+0.6	-0.4～+0.5
東北日本海側	-0.8～+0.8	-0.6～+0.6	-0.4～+0.5
東北太平洋側	-0.8～+0.8	-0.7～+0.6	-0.4～+0.5

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成20年2月22日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(2月23日~3月22日):

期間のはじめは冬型の気圧配置となる日が多いですが、その後、天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

### 1週目(2月23日~2月29日):

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側と東北太平洋側の内陸部では曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部では、天気は数日の周期で変わる見込みです。

なお、期間のはじめは大荒れの天気となるおそれがあります。

平均気温は低い確率が60%です。

### 2週目(3月1日~3月7日):

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

### 3~4週目(3月8日~3月21日):

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

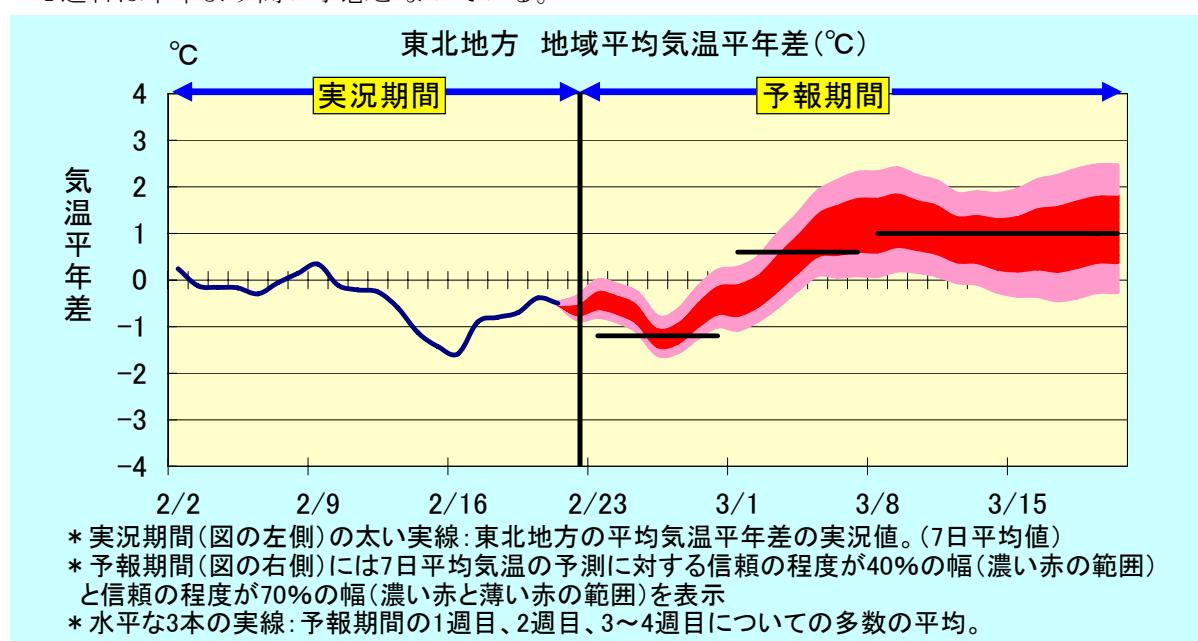
平均気温は高い確率が50%です。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	10.6日	2.0日	2.5日	5.9日
東北太平洋側	17.8日	4.1日	4.7日	9.0日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年より低い、2週目は平年並、3~4週目は平年より高い予想となっている。

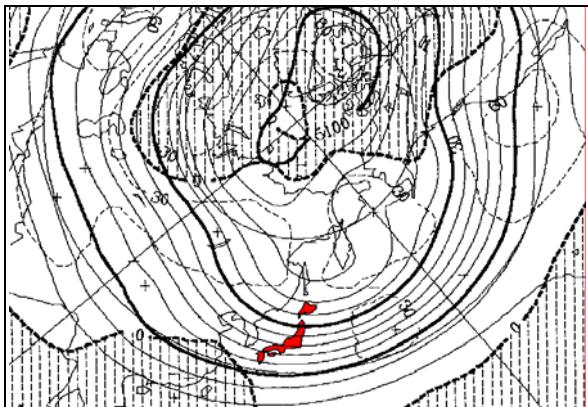


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**：日本を含む中緯度帯は広く正偏差で高温傾向。華南から南は負偏差となる。日本付近の等高度線は蛇行が小さく高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わる見込み。地上天気図(図略)では日本の南岸から東海上にかけ降水域がかかり、低気圧の影響が予想される。

**1週目**：ヨーロッパロシアは負偏差、バイカル湖付近は正偏差、日本付近は負偏差で波列が明瞭。日本付近は寒気の影響を受ける見込み。

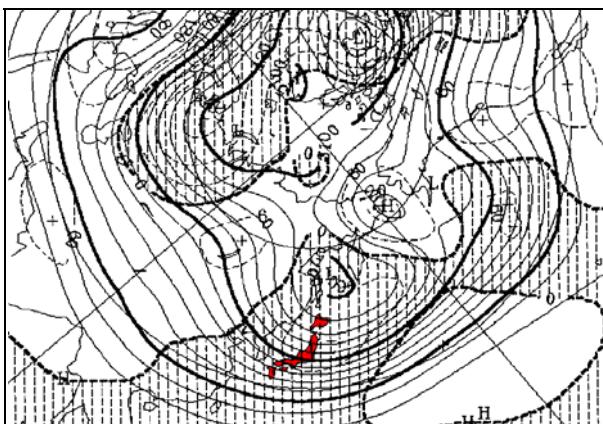
**2週目**：日本付近は大陸から続く正偏差におおわれる。強い正偏差は北日本までかかり高温傾向。



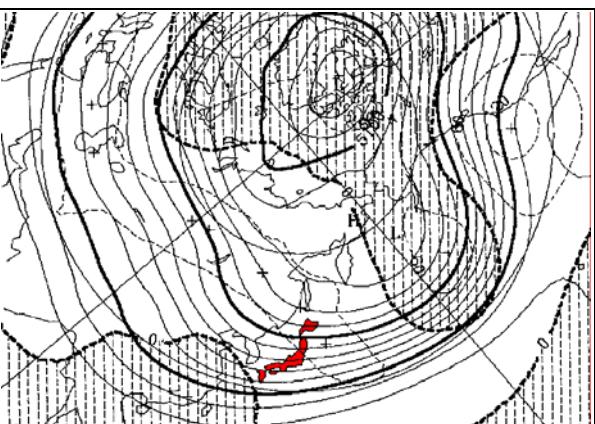
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

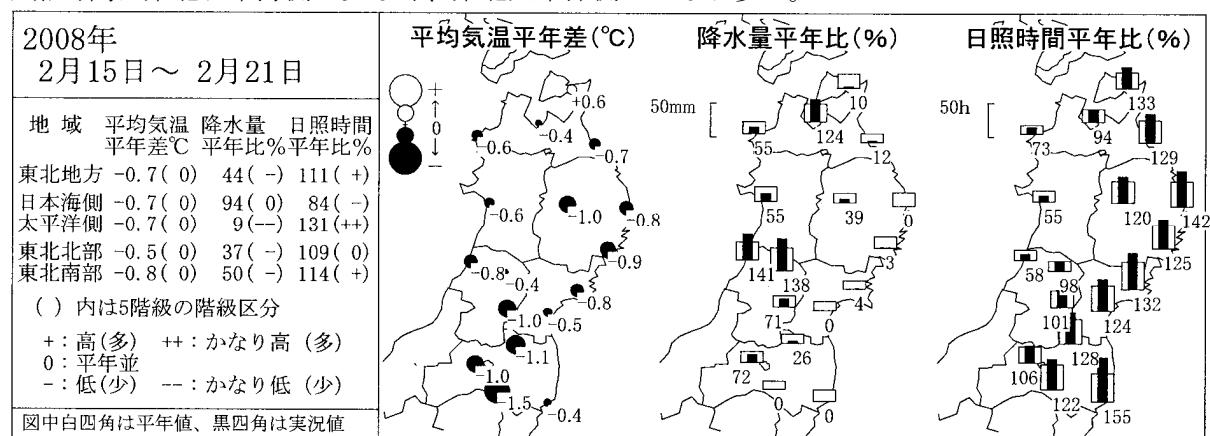
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (2月15日～2月21日) の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置が多く、東北日本海側や東北太平洋側の内陸は曇りや雪が多かった。20日には気圧の谷が東北地方を通過し、東北太平洋側でも曇りや雪または雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)